

ケーソン製作時における内柵のゴミ処理対策

(社)高知県土木施工管理技士会
須工ときわ株式会社
次長兼工事長

徳久 勝[○]
高橋 優 策

1. はじめに

本工事は、高知港三里地区防波堤（東第一）の本体工（ケーソン式）を施工するものである。

本体工（ケーソン式）ケーソン製作工

(B13.7m (16.7) × L26.6m × 13.0

1 R-1.800 2 R~5 R-2.800 計 H=13.000m

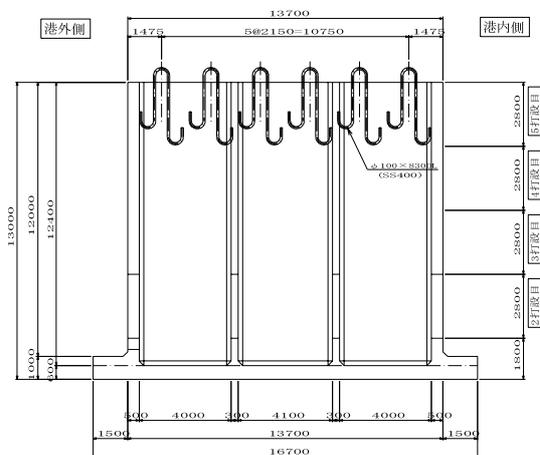


図-1 ケーソン製作工

工事概要

工事名 : 高知港三里地区防波堤
(東第一) 工事 (その(5))

発注者 : 国土交通省四国地方整備局
高知港湾・空港整備事務所

工事場所 : 高知市仁井田埋立地

工期 : 平成19年3月19日～
平成19年8月24日

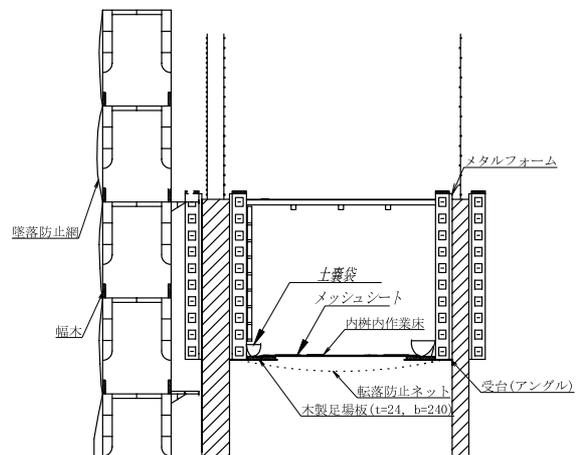


図-2

2. 現場における課題・問題点

ケーソン製作時において、1R～5R打設H=13.0m内柵のモルタル及びゴミ処理において、取除くには、高さが13.0mと高く回収するには、安全上にも困難が生じる。

3. 対応策・工夫・改良点

内型枠にメッシュシート及び土嚢を取り付け、セメント漏れ及びゴミ回収をするように行った。

結果、セメント、ゴミはすべて土嚢及びメッシュシートで止め、内柵下には落ちることなく作業を完了した。



写真-1 柵型枠内部ゴミ収集袋設置



写真-2



写真-3 ゴミ収集袋回収状況